

沖縄県小児救急に関する意見交換会

日 時：令和 6 年 12 月 23 日（月）19:00～

場 所：沖縄県医師会館 3 階ホール

文責：沖縄県医師会理事 當間 隆也

1. 本日の意見交換会の目的

情報共有。沖縄県の小児医療に関わるみんなで、各施設の小児救急の現状や課題を共有することで、その施設や地域だけの問題にすることなく、沖縄県全体の問題として捉え、沖縄県における望ましい小児医療体制を検討するための、情報交換の場にしたい。

2. 本日の流れ

式次第の通り

3. 沖縄県における小児救急、時間外診療、小児医療の現状の確認

需要（受診数）と供給（医師数）のアンバランス

- ・時間外受診が全国平均の 3 倍で圧倒的 1 位。
- ・令和 5 年度の沖縄県の医師偏在指数は全国 5 位であるが、小児科医偏在指数は全国 44 位で、沖縄県内で小児科のみが突出して低い（令和元年は 39 位）

病院の対策：以下の対応を取らざるを得ない状況に追い込まれている。

- ・中部病院：小児救急患者受け入れ制限
- ・那覇市立病院：オンライン診療の導入（R7.3 月までの時限的対応）

県の対策

- ・#8000 に加えて、#8000 ラインアカウントの開設（近々周知予定） 等

4. 課題

- ・需要（小児救急、時間外受診者数）の適正受診化への取り組み
- ・供給（医師数）の確保（増員：研修体制の検討等）、診療の場の確保（増加：夜間休日診療所の開設やオンライン診療等の検討）
- ・迅速に取り組めることの実施
- ・長期的視野に立った検討
- ・沖縄県における望ましい小児医療体制の検討の場の創設が必要
- ・他